OUKA
Osaka University Knowledge Archive

Title	コンフリクトのもつ創造性について
Author(s)	中西, 淑美
Citation	Communication-Design. 2007, 0, p. 145-149
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/4823
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

論文

コンフリクトのもつ創造性について

The creative potential of conflict

中西淑美
大阪大学コミュニケーションデザイン・センター

Toshimi Nakanishi
Center for the Study of Communication-Design, Osaka University

コンフリクト
conflict

創造性
creativeness

コンフリクトにおける対話過程
the communication process of conflict

抄録

人は関係性の中で生きている。人と人の関係にコンフリクトは発生しやすく、コンフリクトは、「紛争」の他に、日常の人間関係に生じる「対立」や「争い」、あるいは「個人のなかにある感情の矛盾や対立」、心理学的には「葛藤」とも訳されている。このコンフリクトについては、紛争解決学において、その定義、分類、包含する内容（否定的な側面と肯定的な側面）や対処方法が研究されている。コンフリクトの一般的な言説として、紛争解決学では、一般的に、以下の7つの言説（1. コンフリクトは異常状態である、2. コンフリクトは通常のコミュニケーションの失敗から帰結される意見の相違である、3. コンフリクトは個人の病理結果である、4. コンフリクトは激化させてはならない、5. コンフリクトは、規則正しく処理されるべきである、6. コンフリクトでは怒りが優勢な感情である、7. コンフリクトを管理する適切な方法は回避が一番である）がある。本稿では、上記の言説の考察を題材に、コンフリクトについて、肯定的側面ならびに否定的な側面をも統合した、そのコミュニケーションをとおして、動態的な相互作用として過程や結果に湧出してくる、コンフリクトのもつ創造性について考えてみることにする。

Summary

People live within (a system of) human relationships. Conflict is an inevitable part of interpersonal relations. The Japanese translation of the English word ‘conflict’ has been fixed as funso (dispute), but in fact includes ‘opposition’, ‘fighting’, ‘contradictory or opposing feelings within an individual’ in everyday human relations and in psychology it has been translated as katto (dilemma). About this conflict, the definition, a classification, contents (the negative side and the affirmative side, etc.) and measures method to include have been studied in dispute solution studies. It is said that there are seven common myths about conflict to the public. In this report, I decide to try to think about creativeness of conflict brought through the communication process of conflict.

本論文（本文）は、オンライン版では公開しておりません。

本論文（本文）は、オンライン版では公開しておりません。